

計画策定の目的

- 近年、町内において人口減少、少子高齢化、世帯あたりの人員数の減少が進んでいます。それにより、今まで支えあいの基盤となっていた家族、自治会機能の低下が想定されます。
- こうした状況の中、住民同士の支えあい、市民活動の推進、企業の社会的貢献、近居者の協力など様々な共助の組み合わせによる支えあいがますます必要となってきます。また、行政として、上記の支えあいの推進のための基盤づくりを進めるとともに、生きづらさや不安を抱える人を受け止める体制の構築が求められています。
- 「竜王町地域福祉計画・竜王町地域福祉活動計画」（以下、「本計画」といいます。）は、地域福祉の推進に具体的に取り組むため、行政の「地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」をひとつにしたものです。行政の公助の責務と社会福祉協議会の共助の推進を整理し、福祉の総合的な計画として、一体的に策定しています。

各主体の役割

社会福祉協議会

- 協議体として地域福祉活動への参加の場、住民同士の活動やボランティア活動の推進役
- 関係団体、企業や行政等とのネットワーク構築
- 福祉委員会活動等の地縁組織とテーマ型等の組織が協働できるよう活動を進め、包括的な支援体制整備を民間の立場から推進する役割



行政

- 施策を効果的に推進し、公的な福祉サービスを適切に運営していく役割
- 住民の身近な相談先として多様な困りごとを受け止める機関
- 既存の分野横断的な視点で施策を展開し、包括的な支援体制の整備を具現化する役割



住民や地域団体、ボランティア、NPO、事業所等

- 親族、近隣同士、自治会を軸とした支えあい、孤立しない地域づくりの推進
- ボランティア、NPO等の多様な担い手と既存の地縁的な取組が接点を持つなど新たな活動の展開
- 住民との相互の支えあいの中での、地域に密着した運営
- 保有している人材、資源、ノウハウ等を活かした、地域との接点拡大

